

職員の意識高まり「役場敷地内全面禁煙」に再挑戦 奈良・平群町

社会 | 暮らし・学び・医療 | 速報 | 奈良

毎日新聞 | 2022/4/13 12:52 (最終更新 4/13 12:53)

有料記事 692文字



奈良県平群町が撤去する方針を固めた「特定屋外喫煙場所」＝同町役場で、熊谷仁志撮影

2016年7月に役場敷地内全面禁煙に踏み切った奈良県平群町が、約3年前に敷地内に喫煙所（特定屋外喫煙場所）を設けたものの、その喫煙所を撤去する方針を固めた。町によると、労組と調整中で時期は決まっていないが、奈良県王寺町に次ぎ県内2自治体目として始めた「本庁舎敷地内禁煙」に再び戻る格好だ。

敷地内全面禁煙は受動喫煙防止対策だったが、町役場周辺での路上喫煙への苦情などもあり、健康増進法の改正が行政機関に適用された19年7月、人がほとんど通らない川沿いの敷地南西側に簡易の喫煙所を設けた。法改正は受動喫煙対策強化が主目的で、行政機関は原則「敷地内禁煙」だが、例外的に喫煙できる「特定屋外喫煙場所」設置が認められていたためだ。しかし、喫煙所の設置を「受動喫煙対策の後退」と受け止める意見があったほか、職員の禁煙も進んだことから、撤去の方向に改めてかじを切ることにしたという。

自治体庁舎敷地での喫煙などを巡っては、13年9月に県内で初めて本庁舎敷地内全面禁煙にした王寺町の副町長ら職員が、敷地内の施設の一角で喫煙していたことが19年12月に発覚。町長らが責任を取って給料を一部返上した。また、生駒市は、19年7月に一般駐車場に設けた「特定屋外喫煙場所」について、保健所から「受動喫煙の恐れがある」と指導を受け、21年3月末で使用を中止した。



2016年7月から「本庁舎敷地内全面禁煙」にすることを知らせる奈良県平群町の掲示板。「特定屋外喫煙場所」設置後も町役場にそのまま置かれている=同町で、熊谷仁志撮影

一方、県内12市で最も早く、18年4月に公共施設敷地内を全面禁煙にした奈良県香芝市では、議会が21年12月と22年3月、「望まない受動喫煙の防止の更なる推進のため」との理由で、公共施設への屋外分煙施設設置を求める決議を採択している。【熊谷仁志】